

松崎「動労」もろとも「真国労」の解体、一掃

動労千葉

86. 5. 30

No. 2253

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

自民党・鉄労と手を組み、労働運動絶滅を叫ぶに至った転向集団を許すな！

「労働基本権の奪還」「労働者の階級的連帯」「社会主義社会樹立のためたかかう」との組合綱領を葬り去る方針をうち出した動労革マル・松崎は先に開催された動労・臨時中央委においても「総評・社会党の推薦があっても支持しない」方針を国鉄国会を控えた重要な選挙戦間近にしての段階に発表、そして何んと「国鉄分割・民営化は来年四月に実施すべきだ」とまでいいなし、国鉄労働運動解体―分割・民営化への具体的なスケジュール提起したのである。松崎はまさに、中曽根・杉浦の代弁者、そして、国鉄労働運動―総評労働運動解体攻撃の先兵としての正体をますます鮮明にしてきた。全ての国鉄労働者の敵、動労革マルを追放・一掃することが全ての労働者・人民の共通の闘いとなってきた。

後退すれば勝てるのか、
徹底的にやられるだけだ

動労革マル・松崎の反労働者的方針は
いったい全体何によってもたらされてい
るのだろうか。

十八日の国労拡大中央委は「社会党の
国鉄改革案（民営化賛成・分割反対）を
支持する」ことを決定した。国労中央は
「多数派形成するため」とか「みんなに
賛成されやすいから」といって、これま
での分割・民営化阻止のスローガンさえ
もおろしてしまおうとしている。

そんな国労に対し、いま松崎は何をや
つてきているのか。国労が、一歩後退す
れば当局になりかわって二歩も三歩も後
退・屈服をつきつけてきているのが動労
革マル・松崎である。ブルトレ問題以降、
国鉄当局がやりたいことを松崎がなりか
わって実行し、それに反発する国労・動
労千葉組合員に処分攻撃をかけてくる図
式でやられてきた。

もはや、中間の道はない

国労から動労へ逃げ出す運動の革マル、
鉄労とツルんで真国労をデッチ上げた営
業の革マルなどに揺さぶられ、自民党機
関紙「自由新報」には「国労には未来は
ない」「わけのわからない国労を助ける
な」とまで松崎に書かれる、ここまでや
られても「まだ闘う時ではない」などと、
国労十九万組合員の苦闘に応えることなく

後退に後退を重ねてきた国労中央に今や組
合員の失望は頂点に達している。今こそ、
「起つて闘う」ときののだ。

真国労を完全解体せよ

松崎が繰り出す数多くの国労解体攻撃
の切り札としてあった「真国労」が、革
マルの策謀であることが暴かれるや、相
次ぐ国労復帰で破産寸前となっている。
しかし、彼らは自民党に「不当労働行
為スレスレになっても育成せよ」と後押
しされているのだ。いまこそ、完全に粉
砕しなければならぬ。

また、新たな松崎方針―「総評・社会
党支持せず」をもって民社党にも票を入
れると動労組合員に強制しようとする動
労革マルを国鉄職場から追放・一掃せよ。

この夏チャンス！
ビデオ時代

協販物品紹介

安心のヒミツ
「協販ならでは」の現金大量一括仕入れ方式

ビデオデッキ

標準価格 ¥2,500
¥1,300

標準価格 ¥88,000
¥61,500

超特価にて販売！！

好評受付中！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！